

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【公開番号】特開2017-108874(P2017-108874A)

【公開日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2017-023

【出願番号】特願2015-244836(P2015-244836)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/06 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/06 D

G 0 2 B 23/24 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

金属基材23cとコネクタ部27は、帰還配線31で接続されている。帰還配線31は、スコープ200の操作部23内からユニバーサルチューブ25内に亘って配置されており、金属部材21cに発生した誘導電流をフレームグランドFGに逃がすために使用される。スコープ200がプロセッサ100に接続されると、帰還配線31は、コネクタ部27を介して、プロセッサ100内の中継配線33に接続される。スコープ200がプロセッサ100に接続された状態において、中継配線33は、帰還配線31とプロセッサ100の外装面上に設けられた帰還端子35とを接続する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

